

「イマジン ローターリー」  
 「感動、感激、そして感謝」  
 「楽しもう ローターリーライフ」

RI会長  
 RI2650地区ガバナー  
 彦根南ロータリークラブ会長

ジェニファー E.ジョーンズ  
 尾賀 康裕  
 上田健一郎

会長：上田健一郎  
 直前会長：宮嶋誠一郎  
 会長エレクト：橋川 高治  
 副会長：泉 藤博  
 幹事：樋口 英彰  
 会計：田川 正人  
 SAA：高木 淳一  
 クラブ会員担当理事：山口 幸次郎  
 公共イメージ担当理事：大塚 恵昭  
 施設管理運営担当理事：山脇 秀介  
 奉仕プロジェクト担当理事：川地 友規  
 財団・奨学金担当理事：田村 芳宏



NO.16 2022年 12月 9日 (FRI) 第2047回例会 Vol.46

本日のプログラム

クリスマス例会：エキシブ琵琶湖

親睦活動委員会担当

プログラム

クリスマス例会を迎えて

17:45~

開会点鐘

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ゲスト紹介

会長の時間

米山奨学生奨学金授与

各種お祝い

幹事報告

委員会報告

SAAの時間

出席報告

例会タイム

閉会点鐘

18:00~

会長 上田健一郎



街には、クリスマスの装飾やイルミネーションがあふれる季節になり、2022年も残すところ、あとわずかとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大後、縮小していたイベント等も今秋以降、次々と再開され、WITH/POSTコロナへと移行してきたと実感しているところです。

さて、皆さまは、クリスマスにどのような思い出がありますでしょうか？皆さま十人十色でたくさんの思い出があることと思います。楽しい思い出やロマンチックな思い出もあれば、ひよっとしたら苦い思い出もあるかもしれません。かくいう私も思い出はあるのですが、仕事柄とは言え、真っ先にでてくるのは、ローストチキンの仕込みで大変だったことや、お歳暮の出荷に追われて深夜残業続きのなか「クリスマスイヴの日ぐらいは早く帰ろう」とスタッフと一緒に仕事を追い込んでいた頃のことです。このような仕事の思い出が多かったのですが、12月上旬に開催されるロータリーのクリスマス会の参加回数も多くなり、ロータリーのクリスマス会を思い出すことも徐々に増えてきました。このクリスマス会に参加できるありがたさを感じています。

コロナ禍により、ご家族も参加していただくクリスマス会が3年ぶりの開催となりました。そのような意味で久しぶりのクリスマス会が大いに盛り上がるよう、そして皆さまにとって思い出に残るクリスマス会になるよう、山田委員長を筆頭に親睦活動委員会の皆様が企画してくださいました。心より感謝申し上げます。

ご参加の皆さま、最後まで大いに楽しんでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。



12月13日プログラム

休会

12月20日プログラム

地区委員会報告  
 プログラム委員会担当

認 証 1978年6月15日  
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30  
 例会場 ビバシティホール  
 〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1

事務局 〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町160-4  
 TEL 0749-23-2102 FAX 0749-23-2108  
 URL http://hikoneminami-rc.com  
 E-mail minamirc@oregano.ocn.ne.jp

## 前回例会報告



第2046回例会は45周年記念事業第2弾社会奉仕拡大例会として彦根城博物館で開催されました。

館内の講堂にて上田会長の点鐘で始まり、その後、彦根西中学校の生徒と「狂言」を鑑賞する為、ソングは省略。

会長の時間では、上田会長の少年時代は現在の博物館の場所は広場で、当時の子供たちが野球等を楽しんだことや 館内の能舞台は西暦1800年に彦根藩により築造され、昭和60年に現在の場所に移築されたこと等を説明していただきました。

続いて、幹事報告、北川社会奉仕委員長からの委員会報告、高木S A Aからニコニコが紹介され、短縮で閉会点鐘。今回の参加メンバー全員が館内の能舞台の観覧席に移動しました。

彦根西中学校の生徒が入場し、幸先生のご挨拶の後、上田会長から中学生に向けてご挨拶と彦根南RCの活動についての説明があり、続いて狂言・大蔵流の名門・茂山狂言会の茂山逸平様が



「狂言」の歴史、「能」との違い、鑑賞のルール（大きくゆっくりとしたセリフや、舞台に「無い」ものを「有る」ものとして演じる姿にツッコまない）等を時に笑いを交えながら詳しく分かり易く説明して下さいました。

「能とは悲しい物語を美しく見せる中世のミュージカルであり、狂言とは中世のショートコントである」という一言は、それまでの「狂言・能」等の古典芸能への何となく「難しいもの」というイメージが崩されて、その後の、2人の演者による演目「柿山伏」の鑑賞に構えずに入ってゆくことができました。

空腹のあまり柿畑の柿を盗み食いした山伏とそれを懲らしめようとする畑主との掛け合いの、その軽妙さ、可笑しさに参加メンバーの皆様や中学生からも大きな笑いが起こり大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後に彦根西中学校の生徒さんから彦根南RCの今回の社会奉仕活動に対する感謝の言葉が述べられ閉会となりました。

ニコニコ箱 計44,000円 総計 933,000円

- ◇彦根えびす講でのストリートサッカーIMご参加の皆様ありがとうございました。本日社会奉仕委員会、親睦委員会の皆様お世話になります。狂言楽しんでください!!...上田君
- ◇移動例会社会奉仕、親睦の皆様お世話になりますIMご参加の皆様おつかれさまでした...樋口君
- ◇記念事業関係者の皆様ご苦労様です...橋川君
- ◇社会奉仕委員会、親睦委員会の皆様お世話になりました...兒島君
- ◇狂言鑑賞例会ありがとうございました。楽しみにしております...諸川君
- ◇45周年記念事業拡大例会お世話になります...法村君・高木君・田川君・西山君・北川(嘉)君
- ◇移動例会お世話になります...川地君、一圓君・梅田君・山田君・中川君・森野君・久米君

## インターシティミーティング開催



クラブ管理運営委員会担当理事 山脇 秀介

11月24日(土)第2650地区2020-23年度インターシティミーティングがびわ湖大津プリンスホテルで開催され、彦根南ロータリークラブからは12名が参加しました。

RI第2650地区ガバナー尾賀康裕氏が開会点鐘をされ、「君が代」「奉仕の理想」の独唱で始めました。

歓迎のことばをホストクラブ湖南ロータリークラブの小森茂樹氏が述べられ、来賓者・地区役員・参加クラブの紹介の後、尾賀康裕ガバナー・河本英典パストガバナーがご参加をされました。

記念講演として大阪ガスネットワーク株式会社・大阪ガス株式会社の北村衣江様・青木覚様が『エコな暮らしと、これからのエネルギーを考える』というテーマで講演されました。

次年度IMホストクラブを発表、地区大会の案内の後、閉会のことばを守本洋季ガバナー補佐、お礼の言葉を甲斐切稔IM実行委員長述が述べられ、尾賀康裕ガバナーの閉会点鐘で閉会しました。

参加された皆様大変お疲れさまでした。

## 彦根市母子福祉のぞみ会様へ

西山会長年度の事業でご縁のあった彦根市母子福祉のぞみ会様からクラウドファンディングの協力依頼がありました。

そこで、11月15日例会時に寄付を募ったところ合計5万5千円の支援があり、去る11月25日に会長の瀧居順子様に贈呈させていただきました。

母子家庭の子供達に食糧支援を継続していくための冷蔵庫を購入される予定だそうです。ご支援ご協力ありがとうございました。



出席報告	会員数	当日出席	Make-Up	出席率
11月28日	56(5)	20(1)	32	100%
10月25日	56(5)	40(2)	13	100%

【ソングリーダー】 ◎森野 隆 (随時ご指名させていただきます)  
 【会報雑誌委員会】 委員長： 尾崎 雄 副委員長： 久米康之 委員： 丸山忠幸 西澤 稔